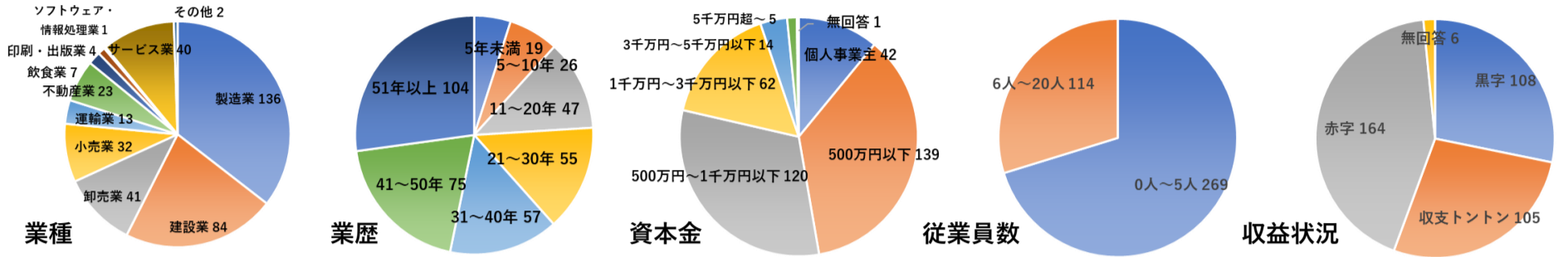


全体的に売上高DI、採算DI、業績DI、資金繰りDIに上昇が見られ、底を打った感は認められるが、先行きを楽観視する傾向は見られない。

調査概要

調査期間： 令和2年10月21日（水）～11月4日（水）
調査対象： 会員事業所3,015件（市内小規模事業者）

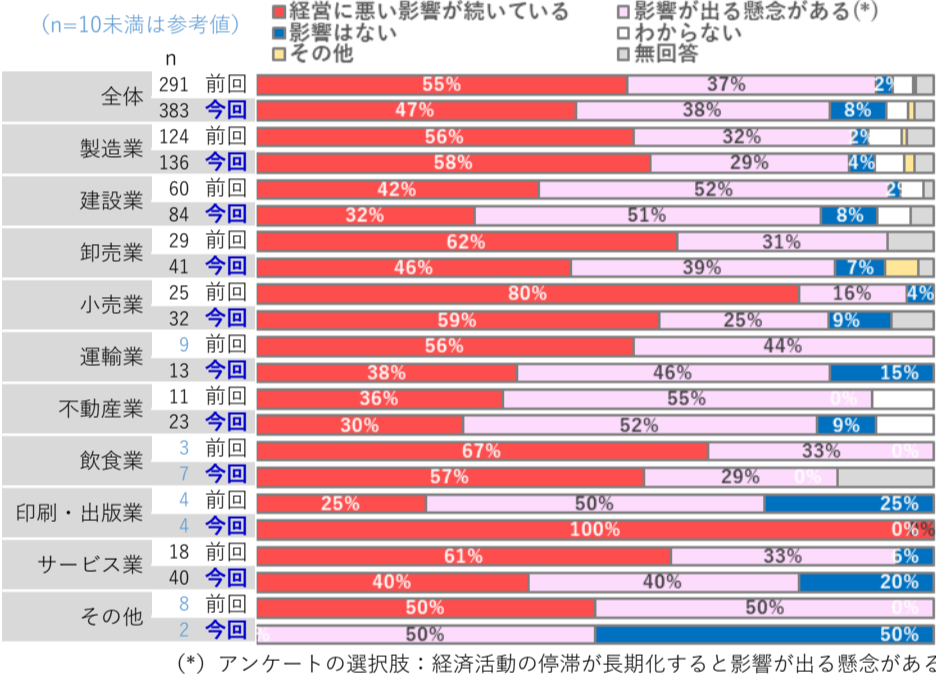
調査方法： FAXによる送付・回答、Webによる回答
回答数： 383件（回答率：12.7%）



新型コロナウイルス感染症に関連する状況について

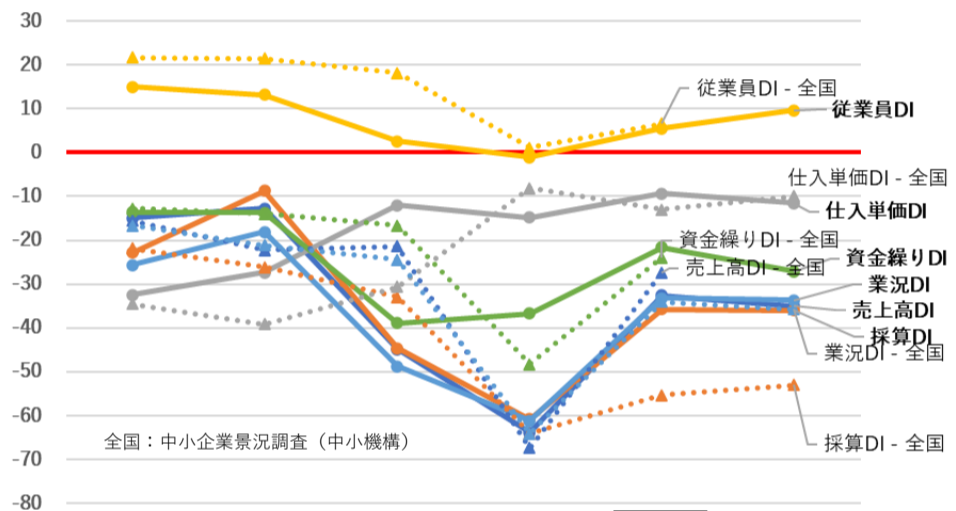
- 「感染症の拡大による経営への影響」では、製造業を除き、「経営に悪い状況が続いている」が減少し、「影響はない」が増加する傾向が見られる。
- 「期待する公的支援」では、6月時のアンケートと同様に、「給付金による支援」、「金融支援」への期待が相対的に高い。
- 「事業承継」については、代表者の年齢で59歳以下が約4割を占め、具体的な承継先や方法について「未定」とする回答者が約4割を占めている。一方、過半数が「経営課題のひとつ」と認識している。

感染症の拡大による経営への影響

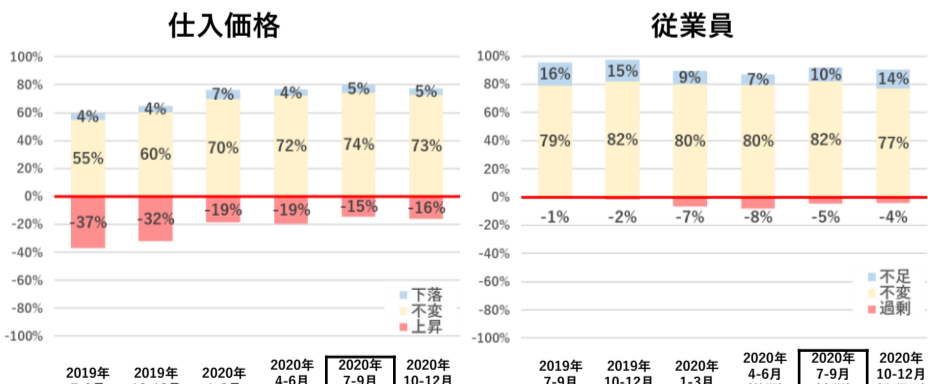
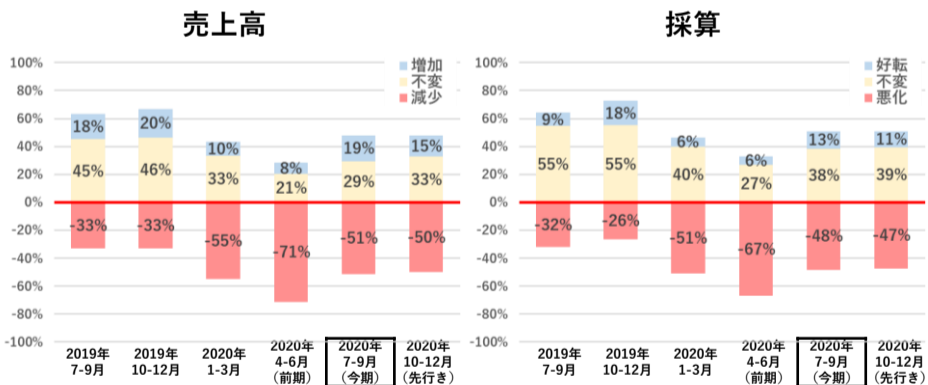


全業種DI

前期（4-6月期）には大幅な下落が見られたが、今期は各DIは好転している。売上高DI、業績DI、採算DIでは約30ポイントの改善が見られるなど、一旦は底を打ったと見て良さそうだ。しかしながら、先行きを見ると、従業員DIを除く全てのDIで改善が見られておらず、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、今後を楽観視する事業者は少ないと言える。



2019年 7-9月 | 2019年 10-12月 | 2020年 1-3月 | 2020年 4-6月 (前期) | 2020年 7-9月 (今期) | 2020年 10-12月 (先行き)



期待する公的支援

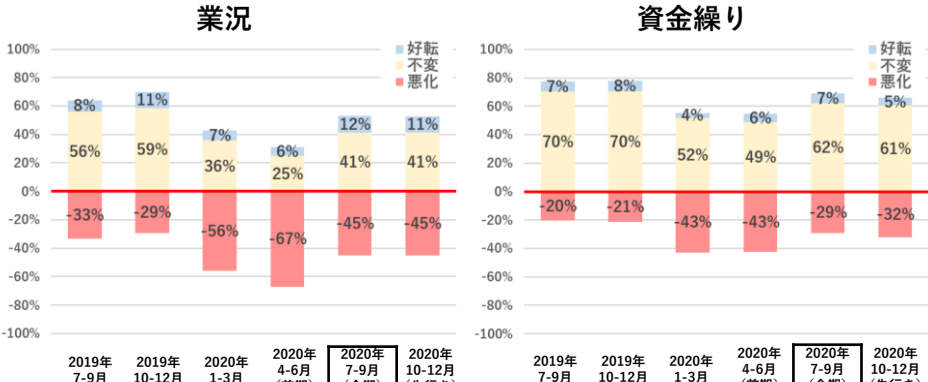
	6月アンケート (n=91)	第23回景況調査 (n=383)
給付金による支援	60%	72%
金融による支援	51%	47%
税金や社会保障等の猶予	36%	36%
雇用調整助成金による支援	42%	36%
公的支援施策等に関する継続的な情報提供	29%	32%
人材の確保・定着に関する支援	25%	18%
販路開拓に関する支援	35%	16%
マスク等の感染防止対策に関する支援	36%	12%
新生活様式下での指針・ガイドライン明確化	30%	10%
事業計画の策定・見直しに関する支援	23%	9%
プレミアム商品券発行等の消費喚起	24%	9%
イベント、展示会、商談会等の開催	24%	9%
生産性向上に関する支援	24%	8%
労働環境の整備に関する支援	31%	8%
BCPの策定支援	22%	7%
インバウンド需要の創出	21%	7%
サプライチェーンの整備に関する支援	19%	6%
その他	2%	4%

※6月アンケートは役員・議員、青年部、女性会を対象にした調査の結果
※景況調査で比率の高い順にソート ※チャートにはアンケートの選択肢を省略したものを使用

事業承継について (n=383)

代表者の年齢	現在の考え方	希望承継先・方法 (今後5年以内)
59歳以下	最優先の経営課題 12%	未定 43%
60~69歳	経営課題のひとつ 54%	親族 31%
70~79歳	認識していない 17%	自社役員・従業員 9%
80~89歳	わからない 13%	自分の代で廃業 9%
無回答	その他 2%	M&A 2%
	無回答 2%	取引先等譲渡 1%
		外部経営者招聘 1%
		その他 2%
		無回答 2%

※チャートにはアンケートの選択肢を省略したものを使用
※希望承継先・方法 (今後5年以内) は比率の高い順にソート



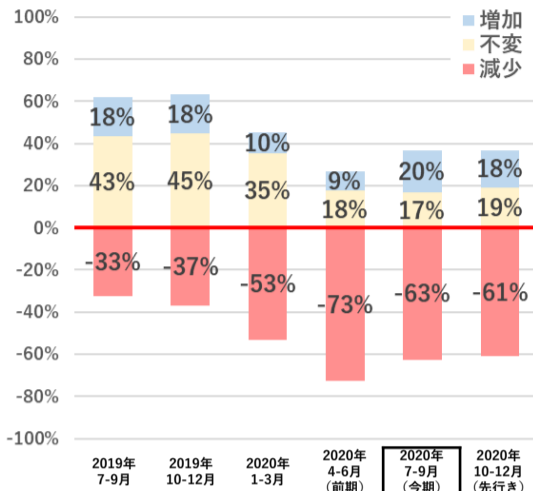
業種別景況 (グラフ：売上高)

- 今期 (7-9月期) は全業種で改善が見られ、前期 (4-6月期) の非常に厳しい状況から、一旦は脱したとみて良さそうだ。
- 小売業、サービス業、卸売業では、売上高DIの減少が減り、増加が増えている。増加の上昇で見ると、卸売業が23ポイント、小売業は16ポイント、サービス業が14ポイントと、他業種と比べて、売上高の回復が早目に感じられている。しかし、先行きについては、増加が続くとは感じられていない。
- 前期 (4-6月期) 最も深刻な状況を示していた製造業でも、全DIが改善している。売上高DIも11ポイントの上昇が見られるが、もともと他業種と比べて売上高DIが低めであるので、状況が厳しい業種と言える。先行きについても、売上高の増加が続くとは感じられていない。
- 建設業でも、売上高DIの減少は減っているが、増加の上昇は6ポイントにとどまり、不変が13ポイント増加している。景況が好転しているとあまり感じられていないと思われる。

製造業 (n=136)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 42.6	↑
採算DI	▲ 47.1	↑
仕入価格DI	▲ 7.4	↑
従業員DI	2.9	↑
業況DI	▲ 44.1	↑
資金繰りDI	▲ 29.4	↑

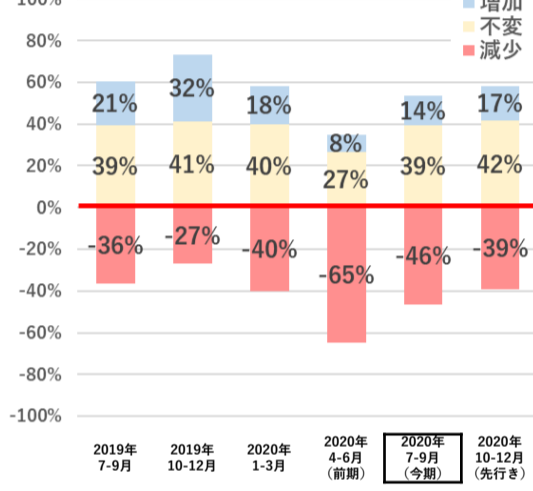
業況DIと売上高DIが前期から約20ポイント上昇、採算DIも約15ポイント上昇している。



建設業 (n=84)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 32.1	↑
採算DI	▲ 29.8	↑
仕入価格DI	▲ 10.7	↑
従業員DI	8.3	↑
業況DI	▲ 28.6	↑
資金繰りDI	▲ 16.7	↑

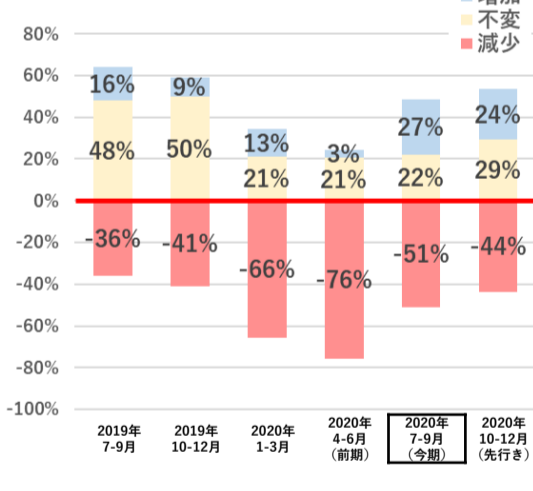
採算DIと売上高DIが前期から約25ポイント上昇、業況DIも約20ポイント上昇している。



卸売業 (n=41)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 24.4	↑
採算DI	▲ 26.8	↑
仕入価格DI	▲ 7.3	↑
従業員DI	7.3	↑
業況DI	▲ 19.5	↑
資金繰りDI	▲ 26.8	↓

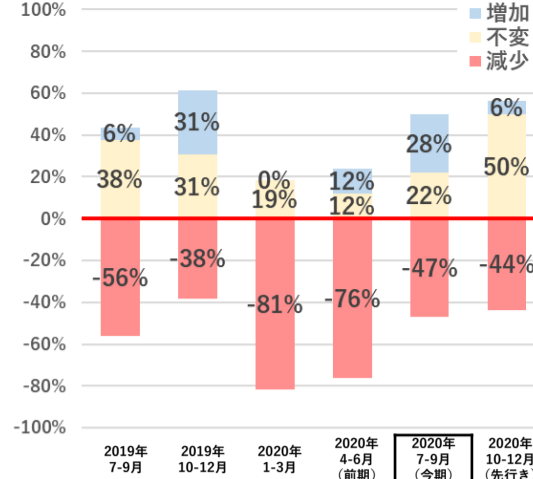
売上高DI、業況DI、採算DIが前期から大幅に上昇。しかし、資金繰りDIがやや悪化している。



小売業 (n=32)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 18.8	↑
採算DI	▲ 31.3	↑
仕入価格DI	▲ 25.0	↑
従業員DI	9.4	↑
業況DI	▲ 37.5	↑
資金繰りDI	▲ 12.5	↑

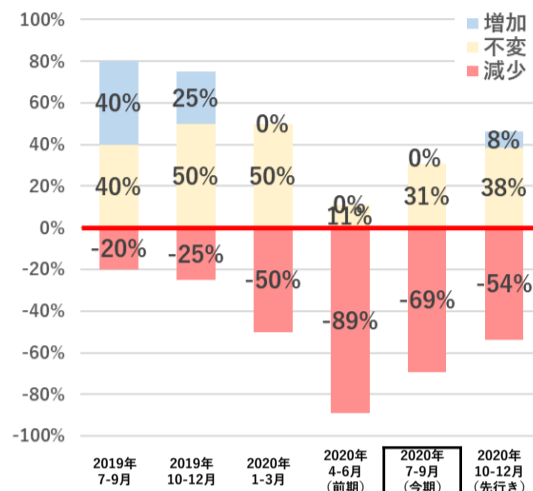
売上高DI、資金繰りDIが前期から大幅に上昇。しかし売上高の先行きでは不変が倍増。



運輸業 (n=13)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 69.2	↑
採算DI	▲ 53.8	↑
仕入価格DI	▲ 7.7	↑
従業員DI	38.5	↑
業況DI	▲ 69.2	↑
資金繰りDI	▲ 30.8	↑

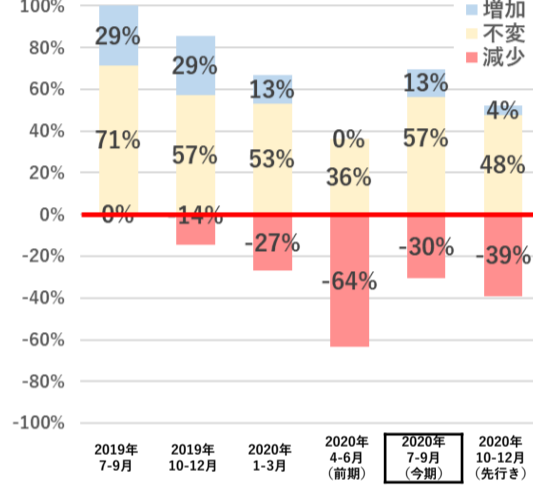
採算DI、資金繰りDIに前期からの上昇が見られ、人手不足も感じられている。



不動産業 (n=23)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 17.4	↑
採算DI	▲ 21.7	↑
仕入価格DI	▲ 4.3	↑
従業員DI	0.0	↑
業況DI	▲ 13.0	↑
資金繰りDI	▲ 13.0	↑

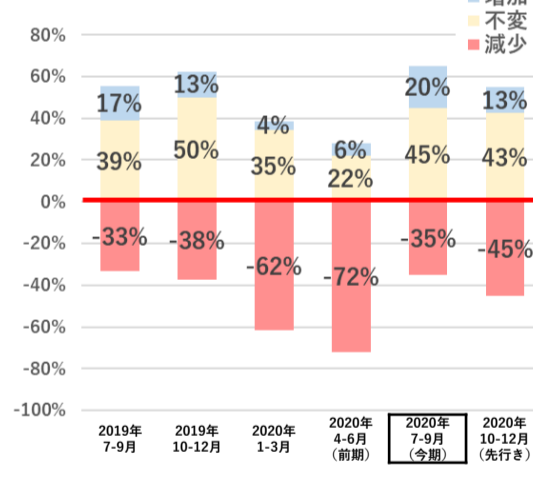
売上高DIが前期から大幅に上昇、業況DI、採算DIも約30ポイントの上昇。しかし売上高の先行きは悪化。



サービス業 (n=40)

	今期	前期比
売上高DI	▲ 15.0	↑
採算DI	▲ 17.5	↑
仕入価格DI	▲ 7.5	↑
従業員DI	▲ 2.5	↑
業況DI	▲ 12.5	↑
資金繰りDI	▲ 7.5	↑

業況DI、売上高DIが前期から50ポイント超上昇するなど、急速に回復。しかし売上高の先行きは悪化が見込まれている。



業種別景況に関するご意見・事例、および要望 ※一部抜粋

- | | |
|-----|--|
| 製造業 | <ul style="list-style-type: none"> ● コロナの影響で輸出品の減少が心配。少し戻ってきたが、先が良く見えない。 ● 工場内設備工事のため新型コロナの一定時期過ぎに受注減が始まる。その時まで公的支援があるのか不明。 ● 新型コロナウィルス感染症の影響でイベント中止が相次ぎ、前年対比の大幅減少、まだ先が見えない状況。早く落ち着いてほしい。 ● 金融の方から借りるしかないが(継続させる為)、借りたら返さなければならぬので、先が見えず不安が募るばかりだ。何しろ注文がない。 ● 雇用を維持していくうえで、雇用調整助成金の現在12月までの上限額引き上げ処置を更に期間延長が必要。事業承継に関しては、自社株の移転方法(相続・贈与)についても同時に決断(実行)せねばならず、悩みがある。 |
| 建設業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 事業承継については自分の代で廃業も選択肢の一つ。先の見通しについてまだ読めていない。 ● 塗装業(建設業)は商工会議所の割合が少ないと思う。零細業者は営業等も難しい。ホームページも作れないので、そちらで斡旋・広報に載せる等の展開も考えて頂けたら有難い。 |

- | | |
|-------|--|
| 卸売業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 当社は既に事業承継については3年前親族(子)に経営を承継した。現在はコロナ禍による今後の経営方針について類々検討中。 ● 同業者も経営が困難な者が多いのでスピードを持ってまず支援をお願いしたい。 ● 保育所への卸売がメインとなってきており、そちらが給食センターなどから取引する様になってしまったら廃業せざるを得ない。 |
| 小売業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 賃貸料が高いため、移転地を探している(自社の土地を探している)。 ● 親族への承継は、今後の売上の見込がある場合。 ● 販売経路が不安 |
| 運輸業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 企業同士のビジネス交流・マッチングをお願いしたい。 |
| サービス業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 4・5月休業の為延期となったイベントを開催している。現況としては(4~6月に比して)好転しているが、今後の見通しは不透明ではある。 ● 業況は改善しつつあるが再度のコロナ蔓延には警戒が必要だ。 |